

■ 構想内容

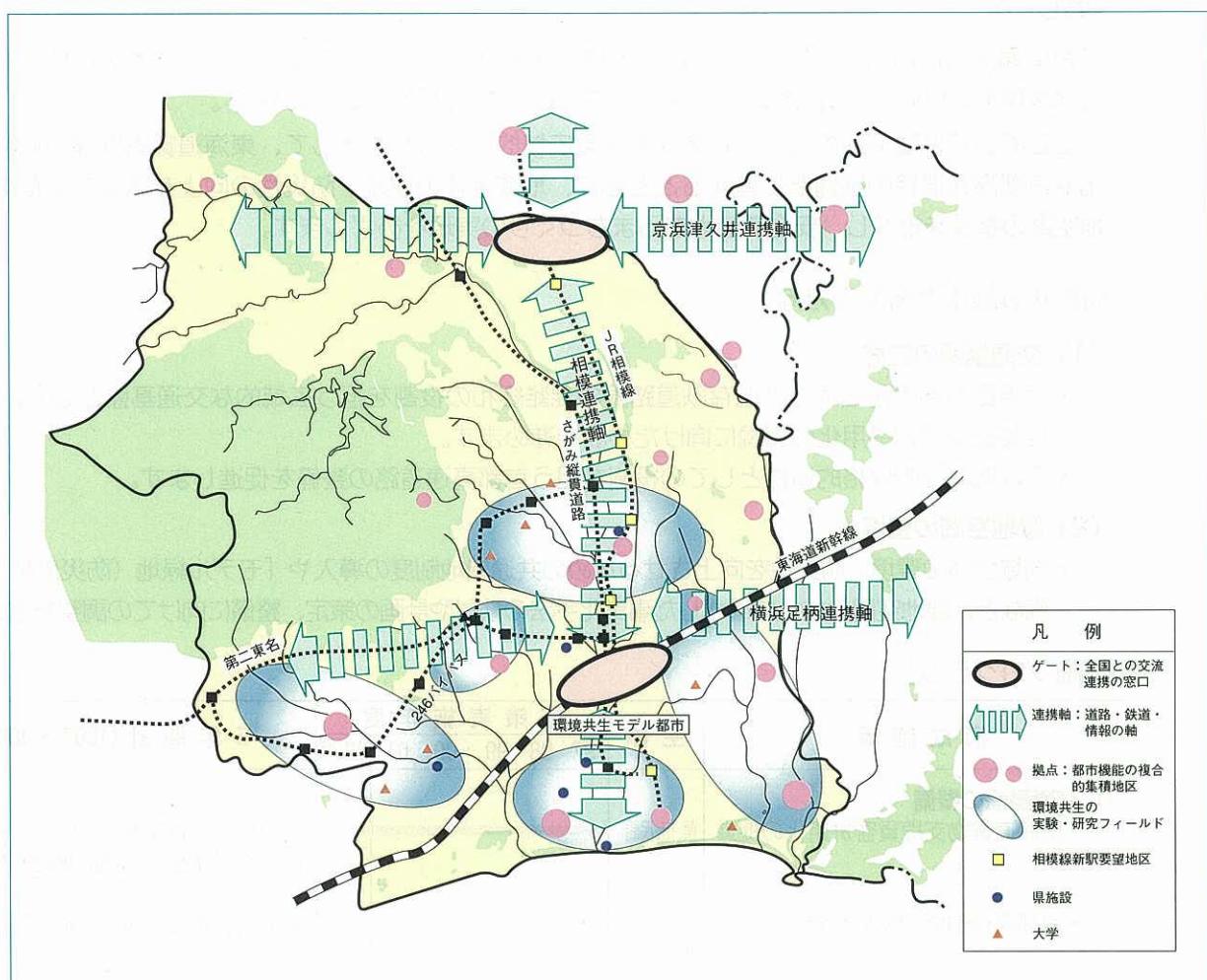
県央・湘南都市圏は、今後、首都圏中央連絡自動車道や第二東名高速道路などの骨格交通網が整備されることにより、首都圏交通の要衝の地となり、多摩・埼玉・茨城・千葉などの東京周辺の諸都市や山梨・静岡方面との交流連携が期待されます。

一方で、相模川を挟み、東西方向及び南北方向の都市間を結ぶ交通基盤が弱く、都市圏の一体性に乏しい状況です。

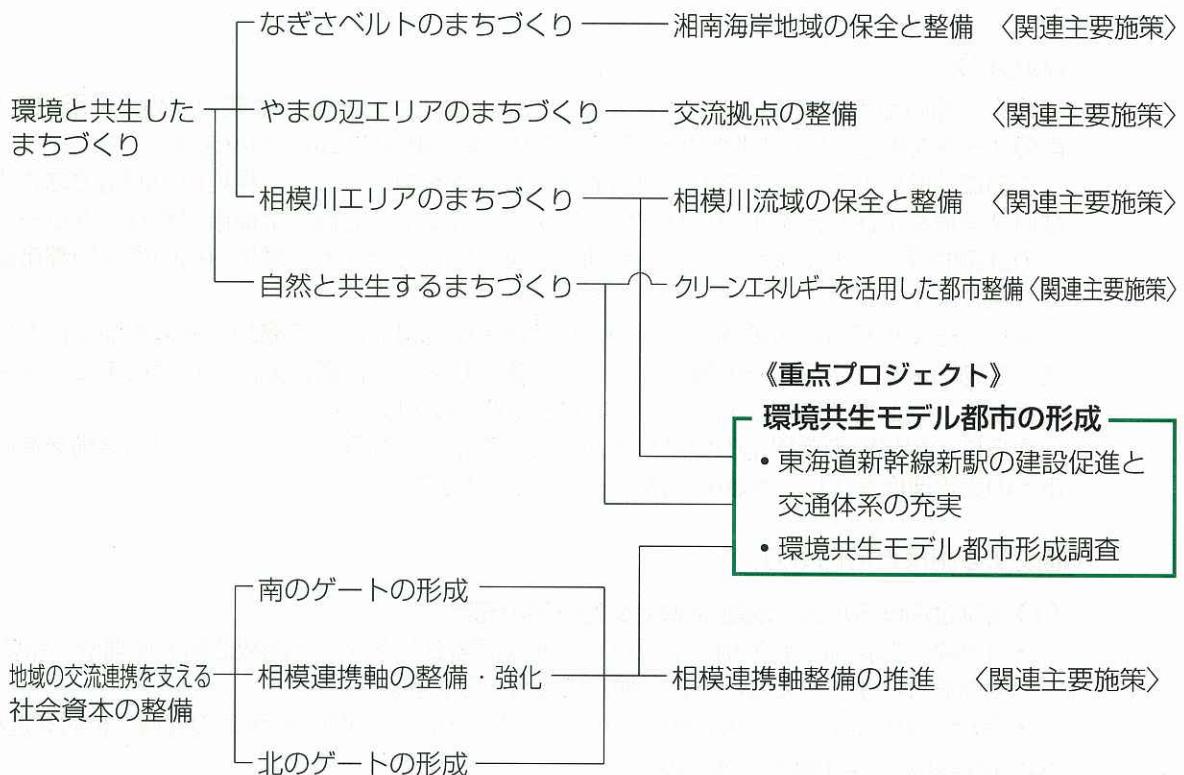
そこで、これから県央・湘南都市圏の整備にあたっては、地域の長年の夢である東海道新幹線新駅とリニア中央新幹線新駅を誘致して、全国との交流連携の窓口となる二つのゲートを形成し、これをつなぐ南北方向の交通と情報からなる軸を相模線の複線化やさがみ縦貫道路の整備により強化し、都市圏の一体性と利便性の向上、新たな活力の創造をめざします。

さらに、相模川流域や湘南海岸地域等の都市の中に残された貴重な自然空間を生かし、環境に配慮した都市づくりを進めることにより、環境と共生した生活都市圏の形成を図ります。

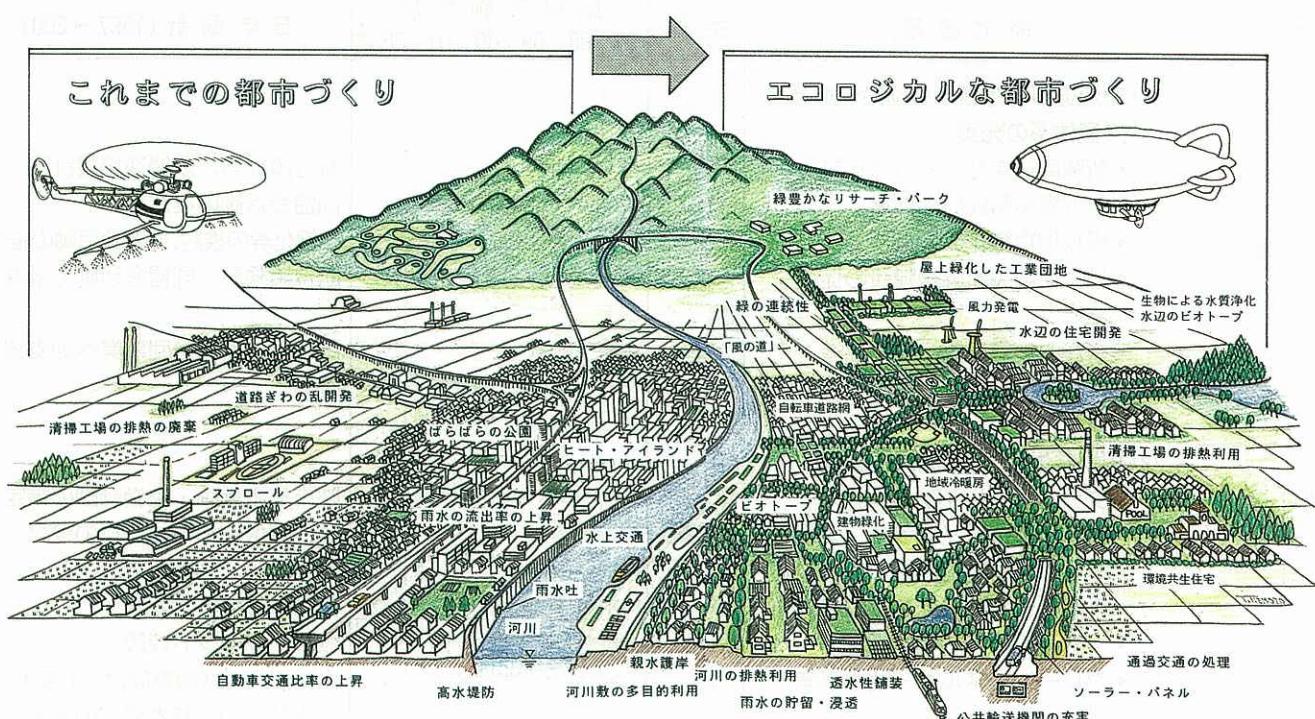
■ 概念図



■ 政策展開の方向



- 《関連重点プロジェクト》
- 都市のみどりの創造と保全
 - クリーンエネルギーを活用したまちづくり
 - 廃棄物リサイクルシステムの形成



〈ねらい〉

県央・湘南都市圏整備構想を実現するために、地域への影響や事業の進め方に配慮しながら、南のゲートを中心とした環境共生モデル都市の形成に重点的に取り組みます。

この環境共生モデル都市では、東海道新幹線新駅を中心として、相模川や湘南のなぎさ等の豊かな自然環境を生かした都市づくり、良好な都市アメニティを備えた都市づくり、クリーンエネルギーの計画的導入、下水施設・資源の有効活用等をはじめとする、環境負荷の少ない都市基盤整備に取り組みます。

また、モデル都市周辺の既存都市や新たな産業研究拠点との有機的な連携を図ることにより、物質・生物・水・エネルギーの循環システムを構築し、環境問題に配慮したゼロエミッション（流入を減らし、流出ゼロをめざすこと）の都市圏形成をめざします。

さらに、相模線の複線化の促進やさがみ縦貫道路、さがみグリーンラインの整備を進め、周辺都市との交流連携を図り、地域の一体性を強めていきます。

〈構成する施策と展開の方向〉

(1) 東海道新幹線新駅の建設促進と交通体系の充実

- 「神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会」を通じた誘致活動の展開や、新駅設置に向けて駅周辺のまちづくりの調査・検討に取り組みます。
- 新駅誘致の効果がより広範囲に及ぶよう、関連公共交通網、道路網の整備・検討を進めます。

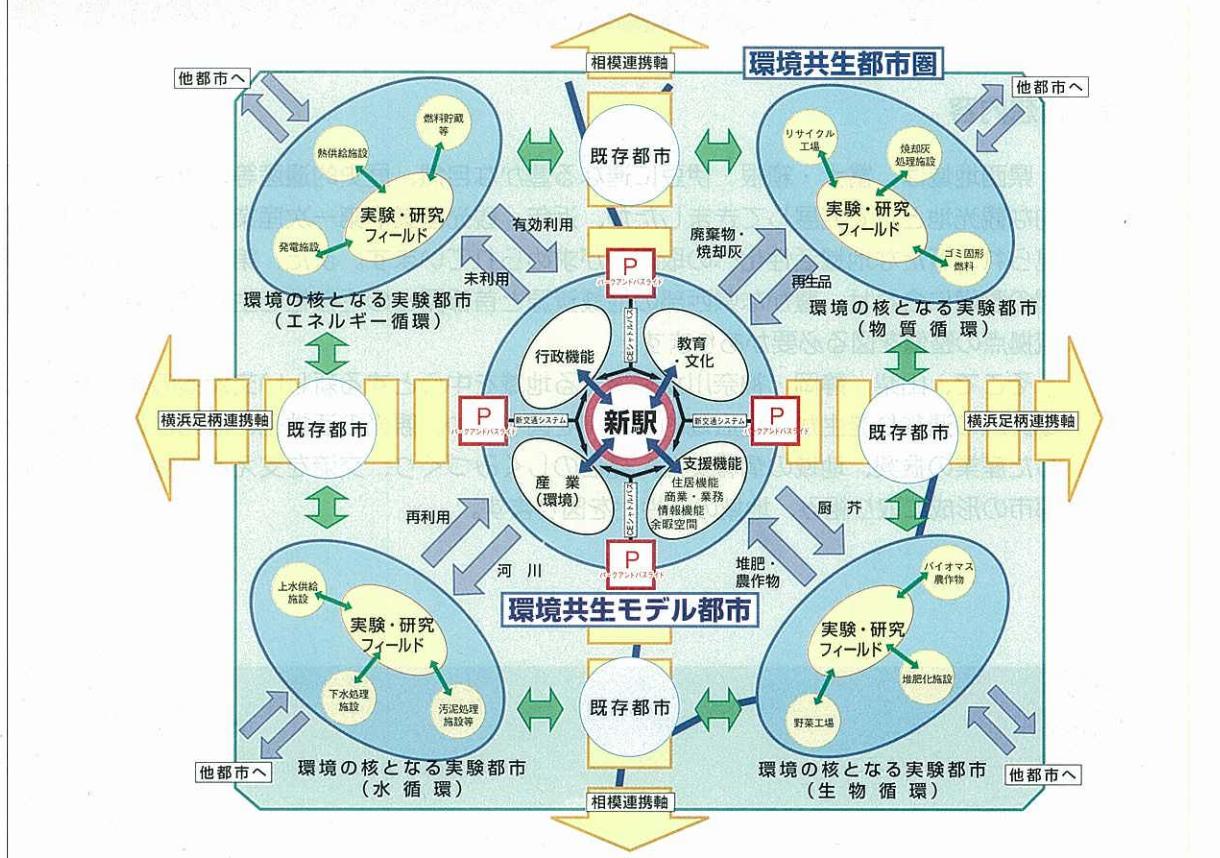
(2) 環境共生モデル都市形成調査

- モデル都市における土地利用や環境計画などを定めた都市基本計画の策定に取り組むとともに、公民連携による都市づくりやゼロエミッションを支える都市のシステム構築に向けた検討を進めます。
- 環境共生モデル都市の形成促進に向けた事業の先行的な取り組みを進めます。

〈実施プログラム〉

構成施策	主 体	施 策 実 施 年 度						5年間計(1997~2001)
		97	98	99	00	01	02以後	
(1) 東海道新幹線新駅の建設促進と交通体系の充実								
・新駅周辺まちづくりの検討	県、市町							
・新幹線新駅建設の促進	県、市町、民間							
・相模線複線化の促進	県、市町、民間							
・リニア中央新幹線建設の促進	県、市町村、民間							
・さがみ縦貫道路の整備促進	国、道路公団							
・さがみグリーンラインの整備	県							
(2) 環境共生モデル都市形成調査								
・グランドデザインの検討	県、市町							
・都市づくりガイドラインの策定	県、市町							
・地価対策の調査研究	県							
・下水処理水の有効利用の検討	県							
・下水汚泥の資源化の推進	県							
・クリーンエネルギー活用事業の推進	県							

環境共生モデル都市を核とした環境共生都市圏への展開〈プロジェクト概念図〉



環境負荷の少ない都市づくり

